

## 農山漁村地域整備計画評価調書

計 画 の 概 要	計画の名称	安全で安心して暮らせる漁村づくり計画
	計画策定主体	兵庫県
	対象市町村	淡路市、姫路市、南あわじ市、新温泉町、たつの市、香美町、洲本市、赤穂市、豊岡市（7市2町）
	計画期間	平成22年度～平成26年度（5年間）
	計画の目標	<p>兵庫県では、「つくり育てる漁業や水産基盤の整備等を進め、豊かなひょうごの海の幸の安定供給」を推進するとともに、「総合的な防災・減災対策を進めることにより、安全で安心して暮らせる災害に強い農山漁村づくり」について推進しております。</p> <p>本計画では「圏域総合水産基盤整備事業計画」に基づく物揚場等の漁港施設の整備や「海岸保全基本計画」に基づく集落等への海水の侵入を防止する海岸保全施設の整備を実施するとともに漁村、漁港の地先海域に漁場の整備を実施することにより、水産業の効率性、生産性の向上を図るとともに、漁業集落排水施設の整備など漁村における生活環境の改善を図り、漁村の安全安心な生活を確保し、水産業・漁村の多面的機能の発揮することを目標としています。</p>
計画指標	<p>①安全に陸揚げ可能な物揚場の確保 2隻分 総トン数5～10トンの漁船が安全に2隻同時に陸揚げ可能な物揚場を確保する。</p> <p>②浸水等の被害から防護された面積 350ha 海岸保全施設の整備により、浸水等の被害から防護された面積を350ha確保する。</p> <p>③漁村生活者の利便性向上 1集落 集落排水施設の改築により、1集落の漁村生活者の利便性向上</p> <p>④浜坂地区 漁港利用者数の増加 30,000人（H17～19平均）→34,000人（H24） 漁獲量 201トン（H16～18平均）→212トン（目標年H23） 出入港時の事故削減 2件（H23）→0件（目標年H26）</p> <p>⑤香住地区 漁港利用者数の増加 57,600人/年（H19）→70,000人/年（H27）、 出漁日数の増加（冬季（11月～3月））95日（H19）→100日（H27）</p> <p>⑥家島地区 漁場造成面積 0ha（H19）→59ha（H23） 定期旅客船利用者の平均移動時間の短縮 20分（H20）→5分（H24）</p> <p>⑦仮屋地区 荒天時における他港への避難漁船数 57隻（H19）→0隻（H26）</p> <p>⑧沼島地区 災害に対応した復旧工事における係留施設の不稼働日数 48日/年（H19年平均）→0日/年（H26）</p> <p>⑨妻鹿地区 移動時間の削減 0.35時間（H25）→0時間（H26）</p> <p>⑩但馬沿岸中西部地区 対象漁業種類（つり、はえ縄、建網、その他）の漁獲量 483トン（H16～18平均）→535トン（目標年H25）</p> <p>⑪東播磨地区 対象漁業種類（底びき網、刺網、はえなわ、つり、その他）の漁獲量 1,870トン（H18）→1,900トン（目標年H26）</p> <p>⑫南あわじ市地区 漁港施設用地等を活用した朝市等の開催 イベント来場者数 6,000人〈南あわじ市地区〉</p> <p>⑬東浦地区 対象漁業種類（底びき網、刺網、はえなわ、つり、その他）の漁獲量 2,830トン（H21）→2,860トン（H26）</p>	

	⑭南あわじ市地区 生産増加期待額 1,685 千円 (H26) イベント来場者数 3,000 人 ⑮姫路市家島地区 漁場造成面積 0ha (H24) →20ha (H26) 漁獲量の増大 6.8 トン (H26) ⑯豊岡地区 漁場造成面積 0ha (H24) →101ha (H26)
対象事業	水産物供給基盤整備事業(地域水産物供給基盤整備) 海岸保全施設整備事業(高潮対策、侵食対策、海岸耐震対策、海岸堤防等老朽化対策、津波・高潮危機管理対策) 漁港漁村環境整備事業(漁村再生交付金事業、漁業集落環境整備事業) 効果促進事業
全体事業費	4,791,370 千円

	評価視点	評価項目	評価	評価の説明
評	目標の妥当性	関連する計画との整合性が図られているか	○	「ひょうご農林水産ビジョン2015」の施策項目「11」及び「15」に合致した目標となっており、関連した計画との整合性が図られている。
		地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	津波、高潮等による浸水被害の防止や漁船の安全な陸揚げ等地域の課題に適切に対応する目標となっている。
価	整備計画の効果・効率性	整備計画の目標と定量的指標の整合がとれているか	○	計画の目標に即した定量的指標となっており、整合がとれている。
		事後評価ができる適切な指標となっているか	○	事業実施後に評価できる定量的な指標となっており、適切な指標となっている。
		構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか	○	構成事業の実施により発現する効果を積み重ねたものとなっており、適切である。
評価結果	事業実施妥当	円滑な事業執行の環境が整っているか	○	関係市町、地元関係者等との事業調整ができしており、円滑な事業執行の環境が整っている。
		地元の機運が醸成されているか	○	強い要望に基づいて実施をするものであり、地元の機運は醸成されている。
			[評価基準] ①評価全項目に○印がついている→「事業実施妥当」 ②評価に1項目でも×印がついている→「計画の見直し」	